

9. 急病センター部

夜間急病センターは、昭和47年1月の開設以来、札幌市における夜間の初期救急医療施設として中心的役割を果たしている。

夜間における診療体制は、会員及び専任医員、準夜・深夜協力医の協力並びに支部、医会、協力団体の支援により体制を維持している。

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、感染防止対策に積極的に努めているが、今後も協力医等が安心して診療できる環境整備を行うとともに、効率的で安定した診療体制の強化を図って参りたい。

- 1) 夜間急病センターの円滑な運営
- 2) 会員、協力医及び医員による当直医体制の維持
- 3) 患者、医師、医療従事者等に対する安全対策の充実
- 4) 情報機能・相談機能・支援機能の充実
- 5) 運営に資するため、他都市急病センター等の視察
- 6) 新型コロナウイルス感染症疑い患者への検査と投薬等、診療機能の拡充
- 7) 札幌市救急医療体制の再構築に向けた夜間急病センター診療機能等の検討及び検証
- 8) 医師の働き方改革施行に向けた協力医等の確保